



広報 KOGA NO.55

こが
古河

目次

- 2 組織機構の一部改正
- 5 介護予防健診
- 8 総合経済対策
- 12 まくらが人物列伝

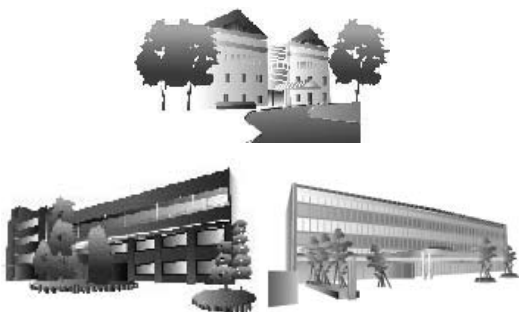
2010

4

APRIL

古河市の組織機構(市役所の課・室)を 一部変更しました

“市民サービスのグレードアップと
 新生古河市のさらなる発展を目指した組織機構に改編”



市では、窓口サービスのさらなる向上を目指し、また新たな行政課題や日々変化する社会情勢・経済状況に対し、迅速かつ的確な対応を図るため、4月1日(木)から市役所の機構の一部を変更しました。
【問】 総和庁舎(本庁)行政改革推進課 ☎92-3111

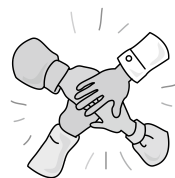
「市民サービス課」を設置

市では、窓口サービスの向上を図るため、総合的な相談・受付業務窓口と福祉、税務窓口を統合し、窓口のワンストップサービス化をさらに進めました。
 これにより、総和庁舎においても福祉全般にわたる申請受付等の手続きが可能になります。

市民課に届出が必要な転入、転出、出生などに関連した福祉手続きは、「保険・福祉総合窓口」で取り扱いますが、それ以外の福祉手続きは、総和庁舎では市民サービス課、古河庁舎および三和庁舎では、総合相談室で取り扱います。
 なお、生活保護などの手続きは、従前どおり健康の駅での取り扱いとなります。

「市民活動支援室」を設置

市民との協働のまちづくりを推進するため、地域の活性化や課題に取り組む市民活動(コミュニティ)に対するサポート体制の充実・強化を図ります。



◆重要課題に関する担当部署の体制を強化しました

部	変更前	変更後	主な業務(内容)
企画調整部 (旧総合政策部)	企業誘致推進室	政策推進課	企業誘致、道の駅の推進に関すること 総合的文化施設、まちづくりの推進に関すること
	道の駅推進室		
市民生活部	市民活動支援係 (自治振興課)	市民活動支援室	市民活動(コミュニティ)に対する支援に関すること

◆部の名称を変更しました

変更前	変更後	変更理由
総合政策部	企画調整部	企画立案機能重視の組織を目指します
税務部	財政部	財政運営体制の強化を図ります

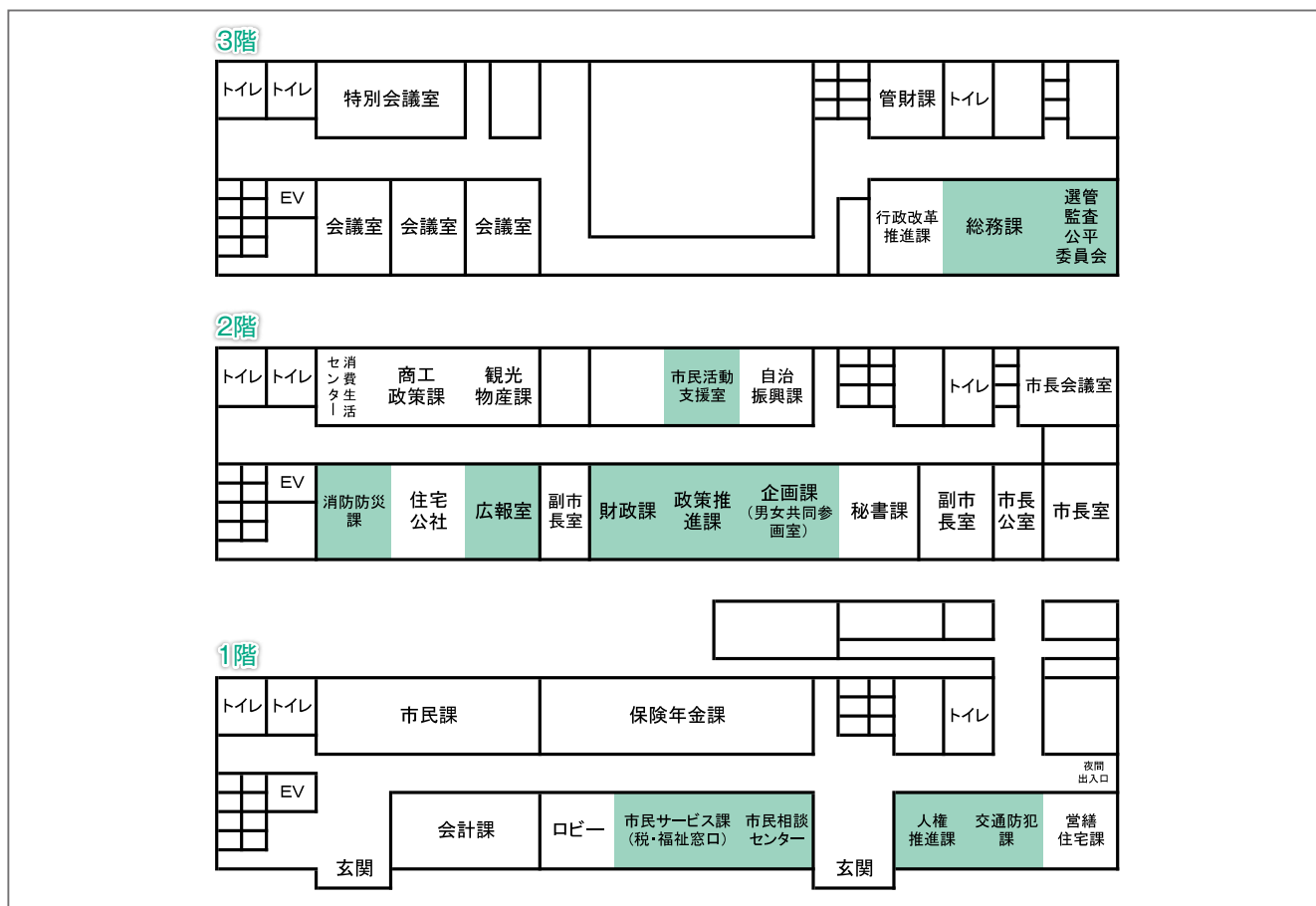
◆課の名称を変更しました

変更前	変更後	変更前	変更後
企画政策課	企画課	広報広聴課	市民サービス課
男女共同参画課	男女共同参画室		広報室

◆各庁舎の配置が変わりました(変更のあったフロアのみ掲載)

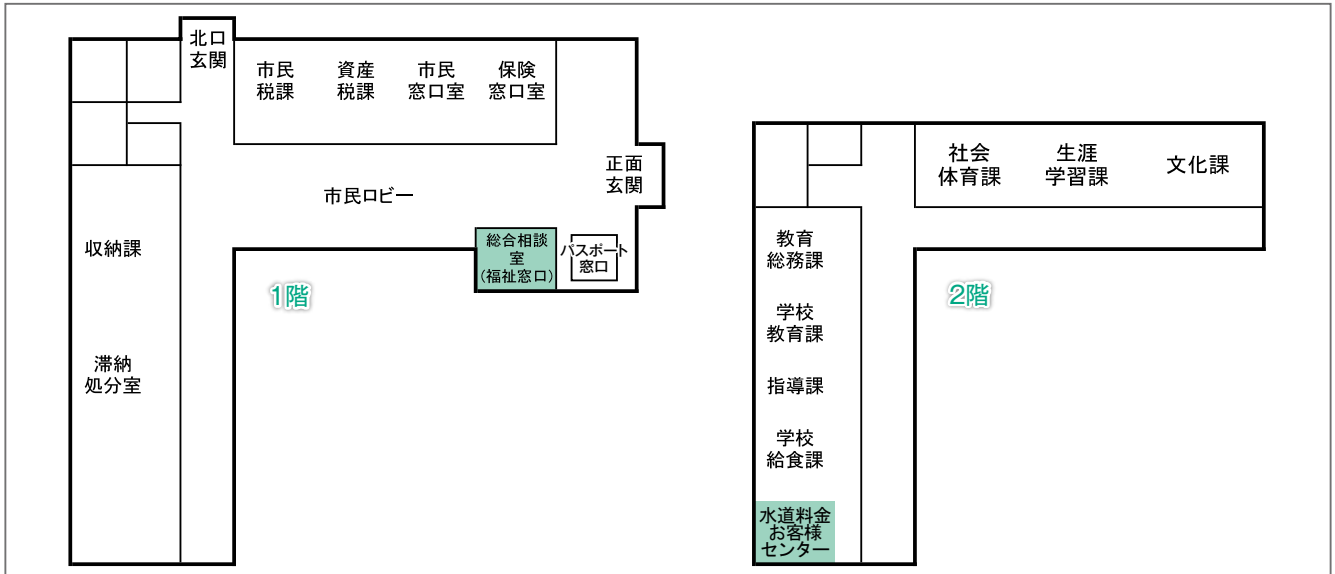
【総和庁舎(本庁)】

(名称・場所が変わった課・室)



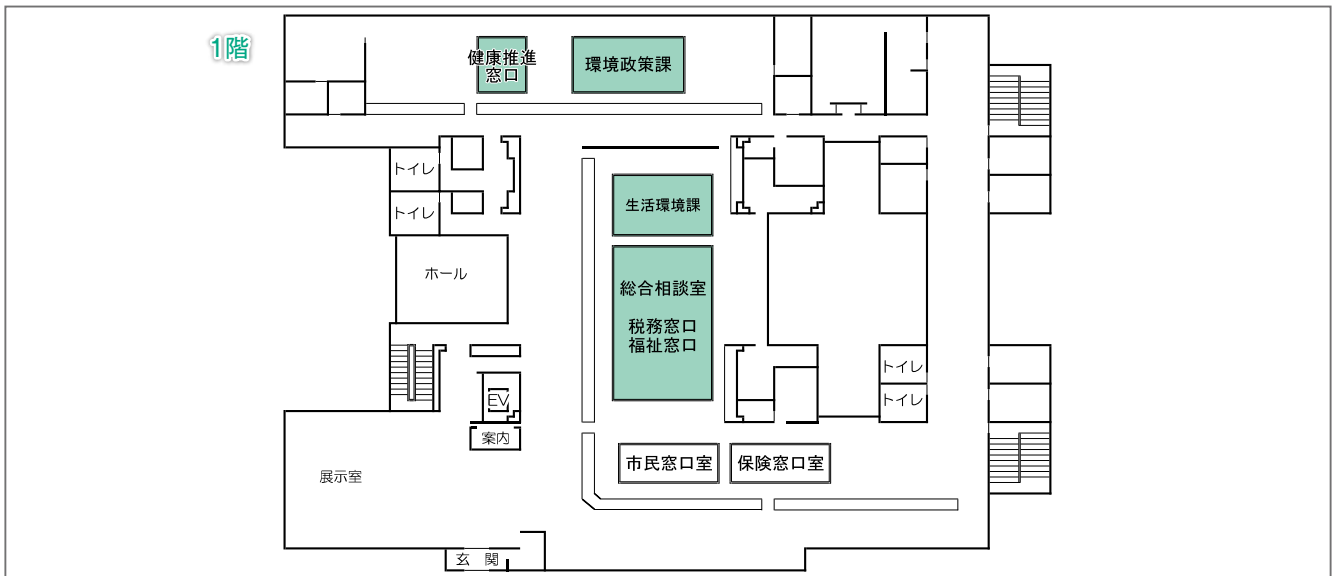
【古河庁舎】

(名称・場所が変わった課・室)



【三和庁舎】

(名称・場所が変わった課・室)



◆ ◆ ◆ 4月1日から「古河市水道料金お客様センター」を開設しました ◆ ◆ ◆

4月1日から水道料金等徴収業務を行政改革の一環として全面委託し、古河庁舎2階に「古河市水道料金お客様センター」を開設しました。

これに伴い、総和庁舎および古河庁舎の水道窓口は廃止となりましたので、水道料金等に関する問い合わせは「古河市水道料金お客様センター」にお願いします。

電話番号 ☎21-1065

営業時間 午前8時30分～午後5時15分(土・日・祝日・年末年始を除く)



介護 予防 健診

満65歳以上の人全員が対象です(要支援・要介護認定者を除く)。

を受けましょう!



総和福祉センター「健康の駅」で行われた「いきいき運動教室」

高齢期には生活習慣病の予防に加え、今の心身の機能をできるだけ低下させないことが重要です。現在の健康状態や心身の機能の衰えがないかチェックし、今から予防しましょう。

【問】 総和福祉センター「健康の駅」内
高齢福祉課 ☎92-5838

介護予防健診 (生活機能評価)とは?

現在の生活習慣や身体の状態から要介護状態をもたらす要因を早期に発見するための検査です。生活機能評価の問診に加え、身体計測、血圧測定、理学的検査等を行います。



のままの生活を続けていると心身の機能が衰え、将来、要介護状態になる可能性があります。

気になる人はぜひ、介護予防健診(生活機能評価)を受けることをおすすめします。

※実際にチェックリストで生活機能をチェックしてみましょう。

健診を受けた後は?

介護予防健診の結果をもとに、要介護状態になりやすい人(特定高齢者)には、その人の生活機能の状態に応じた介護予防プログラムの案内を送付します。

通知が届いたら、介護予防プログラムに参加して、現在の生活を改善しましょう。

生活機能をチェック してみましょう!

広報古河7ページに掲載してある「生活機能チェックリスト」をつけてみて、緑色の方に該当する項目が多い場合は、こ

健診の受診方法は?

市で行う特定健診・がん検診などの集団健診の会場で受診(費用は無料)することができます。

※詳しい集団健診の日程は、4月1日号の折り込みチラシでご確認ください。



介護予防健診を受診した後の流れ(フロー図)

介護予防健診 受診(市で行う集団健康診査会場で受けてください)
 ☆満65歳以上の人全員が対象です(要支援・要介護認定者を除く)

健診結果

一般高齢者

(今回は、生活機能の低下が見られなかった人)

健康づくり

介護予防教室

特定高齢者 (生活機能の低下があり、要介護状態になりやすい人)

特定高齢者介護予防プログラム

いきいき運動教室



普段の生活で体を動かすことが減ってきている人を対象にストレッチやバランス運動などを行います

お口の健康教室



お口を健康に保つ方法や、かむ力、飲み込む力を向上させる方法を楽しく学んでいきます

いきいき栄養教室



栄養バランスの偏りや高齢期に摂りたい栄養やその調理方法について学びます

訪問による指導



保健師や看護師が訪問し、必要な教室にお勧めしたり、生活のポイントをアドバイスします

介護予防プログラムに参加した人の声

「いきいき運動教室」 小菅文子さん(上辺見)



高齢者でも分かりやすく、気軽に簡単にできる体操です。わたしも時間をみつけて毎日続けています。その効果があって、身の回りのことが自分できるようになりました。

「お口の健康教室」 鈴木秀雄さん(女沼)



今までの何十年間も間違っていた歯の磨き方をしていたことを、教室に参加して初めて知りました。これからは、正しいブラッシングを続けて、自分の歯を残していきます。

平成21年度は、約150人の皆さんが「介護予防プログラム」に参加されました。教室に参加した人は機能の改善がみられたり、今後の生活に教室の成果を取り入れることができたりと有意義に過ごしています。皆さんも元気にいきいきと生活していくために、介護予防健診を受けて介護予防に取り組みましょう！

◆生活機能評価問診票◆ チェックリストをつけて、緑色の方に該当する項目が多い場合は要注意です!

No.	生活機能チェックリスト(質問項目)	該当する回答に○をつけてください	
1	バスや電車で一人で外出していますか	0. はい	1. いいえ
2	日用品の買い物をしていますか	0. はい	1. いいえ
3	預貯金の出し入れをしていますか	0. はい	1. いいえ
4	友人の家を訪ねていますか	0. はい	1. いいえ
5	家族や友人の相談にのっていますか	0. はい	1. いいえ
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0. はい	1. いいえ
7	イスに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	0. はい	1. いいえ
8	15分くらい続けて歩いていますか	0. はい	1. いいえ
9	この1年間に転んだ事がありますか	1. はい	0. いいえ
10	転倒に対する不安は大きいですか	1. はい	0. いいえ
11	6カ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい	0. いいえ
12	BMI [体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)]が18.5未満である	1. はい	0. いいえ
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい	0. いいえ
14	お茶や汁物等でむせる事がありますか	1. はい	0. いいえ
15	口の渇きが気になりますか	1. はい	0. いいえ
16	週に1回以上は外出していますか	0. はい	1. いいえ
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい	0. いいえ
18	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか	1. はい	0. いいえ
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0. はい	1. いいえ
20	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい	0. いいえ
21	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	1. はい	0. いいえ
22	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1. はい	0. いいえ
23	(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	1. はい	0. いいえ
24	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	1. はい	0. いいえ
25	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	1. はい	0. いいえ

市民経済の活性化につながった



市では、昨年に国の補正予算で創設された地域活性化・経済危機対策臨時交付金等を活用して、7月・10月補正により25億円を超える規模の市独自の総合経済対策を迅速に行いました。そこで今回は、実施しました70事業の中から主な事業の実績を報告します。

【問】 総和庁舎(本庁)
企画課 ☎92-3111

少子高齢化への対応

◆子育てすくすく支援事業

0歳から2歳児について、乳幼児期の子育ての負担に配慮して市内の事業所等で買い物ができる商品券1万円分を支給しました。

【事業費】
3812万円
(市負担0円)
【支給者】
3,812人



◆三人乗り自転車貸出事業

最近の厳しい経済情勢の中で、子育てをしている人の経済的な負担に配慮して、全国の自治体に先がけて市独自の子育て支援策として、「三人乗り自転車貸出事業」を実施しました。

【事業費】
710万円 (市負担0円)
【最大70台】
61台の貸し出し



◆地区敬老イベント等支援事業

地区または自治会、行政区で行う高齢者を対象とした敬老イベント等に補助金を交付して、地域コミュニティの推進を支援しました。また、高齢者に対して敬老券(商品券)を支給しました。



【事業費】
8493万円 (市負担0円)
【補助金・敬老券】
20地区・20,773人

◆小学校語学指導助手派遣事業

市内23の小学校において、5年生・6年生の英語活動および4年生以下の国際理解教育の場で担任とのチームティーチングを行い、児童のコミュニケーション能力の素地を育みました。



【事業費】
1946万円
(市負担0円)

「古河市総合経済対策」～市民元気アップ経済対策～

◆公園遊具整備事業

市内公園や児童公園の遊具の新設修繕などを行い、安全で安心して遊べる環境を整え、地域の子育て支援の充実および公園利用者の安全確保を図りました。

【事業費】
580万円
(市負担0円)



◆高齢者等住宅用火災警報器事業

今まで70歳以上の高齢者等の住宅を対象に無料で火災警報器の設置事業を行っていたものを年齢要件を65歳以上までに引き下げました。

【事業費】
920万円 (市負担0円)
【支給世帯数】
1,900世帯



◆駒羽根小学校児童クラブ施設整備事業

学校の余裕教室を利用して運営していた児童クラブを学校児童数の増加に伴い、新たな施設として整備しました。



【事業費】
2310万円
(市負担0円)
【利用児童数】
77人

◆古河第三中学校駐輪場新設事業

今まで駐輪場が無かった古河三中に、平成22年度から自転車通学への対応を図るために、全生徒約300人分の駐輪場を新設しました。



【事業費】
1836万円
(市負担0円)

地球温暖化対策

◆住宅用新エネルギー機器普及促進事業

地球温暖化の抑制を図るため、住宅用太陽エネルギー利用機器(太陽光発電システムおよび太陽熱温水器)を設置した人に補助(上限21万円)を行いました。



【事業費】
2350万円 (市負担0円)
【補助申請】
110件

◆校庭芝生化モデル事業

市内小中学校モデル4校の校庭(一部)の芝生化を行い、緑の芝生でのびのびと運動できる環境を整備しました。



【事業費】
425万円 (市負担0円)
【モデル校】
古河三中・総和中(H21年度実施)
名崎小・八俣小(H22年度実施)

安全安心の実現

◆消防団備品等整備事業

火災時に使用するホースやその運搬のためのホースカート、火災現場で使用するトランシーバーに加え、消防団員用活動服、資機材運搬車を整備し消防力が強化されました。



【事業費】
1843万円
(市負担0円)

◆交通安全指導車両購入事業

市民に対する交通安全教室や苦情等について、柔軟に対応することができました。また、緊急時による交通安全の確保および日ごろの防犯のための広報活動が広域にわたり可能となりました。



【事業費】
196万円
(市負担0円)
【購入台数】
1台

◆防犯灯設置事業

合併以降、防犯灯の設置および管理については市が行っています。自治会・行政区より新規設置の要望がありました防犯灯を設置しました。



【事業費】
114万円 (市負担0円)
【新規設置】
33基

◆女性特有のがん検診推進事業

一定の年齢に達した女性に対し、子宮頸がんおよび乳がん検診の無料クーポンと検診手帳を交付して検診受診率の向上を図りました。



【事業費】
2382万円
(市負担0円)
【受診者数】
2,603人

雇用の促進

◆緊急雇用助成事業

平成19年の秋以降の経済状況の激変によって失業されている市民を雇用した企業に対し、人件費の一部を助成することで、就業を促し市民生活の安定を図ることができました。



【事業費】
3000万円
(市負担0円)
【助成事業所】
206事業所

◆庁内雇用創出事業等

失業者の雇用対策と「古河市総合経済対策」の各事業をできるだけ早く実施するために、必要となる事務補助員等の臨時雇用を行いました。



【事業費】
4307万円
(市負担0円)
【雇用者数】
78人

地域活性化等

◆スーパープレミアム商品券事業

販売から1カ月足らずで完売となった「笑得大使」の第2弾として、市内商品券を発行し、より付加価値(プレミアム)を高めることで消費を促し、市内経済の活性化を図りました。

【事業費】

4億4947万円
(市負担0円)

【購入世帯数】

5,666世帯



◆市内イベント活性化事業

テレビでも放映された「カブトムシ型巨大ロボット」を市内で開催されるイベントに展示してまつりの活性化を図りました。

【事業費】

220万円 (市負担0円)

【市内イベント】

関東ド・マンナカ祭り
古河よかんべまつり



◆市道整備事業

平成20年度までに、自治会・行政区から市道整備の要望がありました路線を整備し、市民の日常生活の向上を図りました。



【事業費】

1億5500万円
(市負担0円)

◆まちづくりにぎわい事業

商店街の活性化や観光誘客を目的に、「コガ・ロマンチック・イルミネーション」を古河駅周辺を中心に初めて実施しました。色とりどりのLED32万球のキラメキが古河の街なかを彩りました。



【事業費】

1499万円
(市負担0円)

◆農業用肥料等購入助成事業

平成20年に肥料原料の高騰等により、大幅に上昇した肥料価格を市内農家の経営安定に資するため、肥料購入費等を一部助成しました。

【事業費】

1672万円
(市負担0円)

【戸数】

1,029戸



◆ふれあい館等身障者用トイレ等整備事業

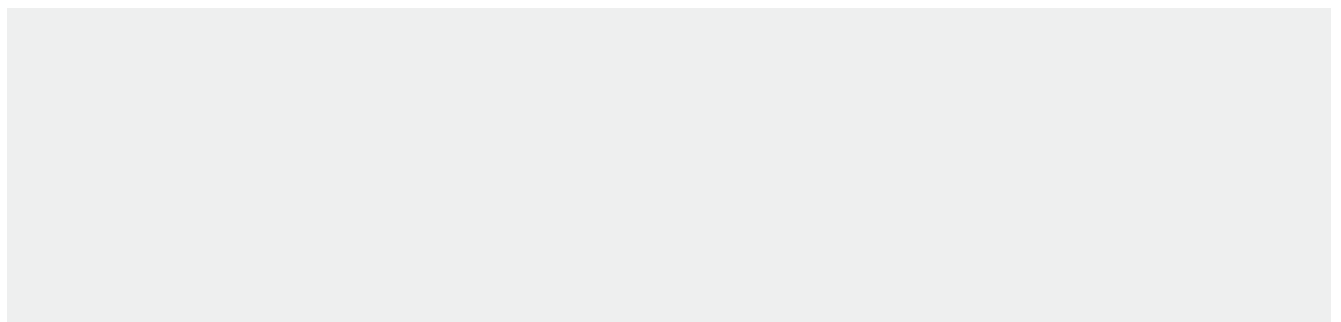
ふれあい公民館を利用する体が不自由な人のために、身障者対応洋式トイレ等を整備しました。

【事業費】

182万円(市負担0円)

【整備内容】

身障者用多目的トイレ一式



まくらが 人物列伝



▲晩年の奥原晴湖 画室「繡水草堂」

第15回

奥原晴湖

(後編)

(1837~1913)

新天地・熊谷にて

明治24(1891)年、南画界の衰退とともに、中央画壇との交渉を断ち東京を去った晴湖は、弟子の渡辺晴嵐を伴って、熊谷在成田村上川上(現在の埼玉県熊谷市)へ隠棲します。

上川上は、当時古河藩の飛び地で、この土地の名主を務めていた稲村彌五右衛門は、晴湖の実父・大番頭池田政明に仕えています。そして、その子息・貫一郎は、まだ晴湖が江戸に出る前、池田家へ藩政見習いとして来ていたこともあり、晴湖とは懇意の間柄でした。また、慶応4(1868)年の戊辰戦争のおり、晴湖は上野の戦火を避けて、一時この上川上の稲村家へ寄留していたこともありました。

晴湖はここに居を構え、画室「繡水草堂」(はじめ「繡佛草堂」、のち「寸馬豆人楼」とも称した)を建て、新しい制作拠点としました。

高雅優麗な画風を展開

東京で画壇を風靡したころの晴湖の画風は、「東海描き」と呼ばれた勢いのある奔放な筆致によるものが主流でした。しかし、熊谷に隠棲したのち、晴湖は濃密な色彩を用いた、緻密な描写へと画風を変化させます。そして清代画人に学んだ繊細で穏やかな表現様式を確立し、高雅優麗な多くの優品を生み出す円熟期を迎えました。

各地を遊歴、画境を深める

隠棲後、悠々自適の生活となり、画業三昧の境地にいたった晴湖は、たびたび旅行をして他郷に対する見聞を広めています。また地方の支援者のもとを訪れ揮毫を行い、伝来の古画・名筆に触れて画境を深めました。

明治29年には、晴嵐らをともない、北越への旅に出発。約五カ月間に及ぶこの旅では、晴湖の最も重要な支援者でもある越後の素封家・長谷川家(現在の新

潟県長岡市)に2週間ほど滞在しています。そして同年、この滞在を機に描いた画卷「月瀨梅溪函巻」は、熊谷時代における晴湖の代表作となりました。

その後、明治30年には松島方面、同31年には、二度目となる関西へ旅行をし、名古屋・伊勢をまわります。同33年には東北へ旅行。仙台・米沢に遊びます。特に米沢では、晴湖が東京で活躍中の明治5年から交流のある支援者・小野三之助氏を訪れ、22日ほど滞在、米沢の画家・下條桂谷とともに揮毫するなど、地方画人たちとの親交を深めています。

多忙を極めた晩年

隠棲したのちも、晴湖の作品は世に求められ、特に明治34年ごろからは遠隔地からの揮毫依頼が多くなります。同38年ごろには、さらに近遠諸方から依頼が増え、また画室を訪れる客も多く、すでに70歳の老境に達していた晴湖は、多忙な日々をおくります。また、同42年には、最後の弟子となる瀧脇進吉が入門、晴華と号し、このころ、画室はますます賑わいをみせました。

ここに紹介した肖像写真は、明治44年に書画骨董雑誌社長の樋口傳が晴湖を訪ね、翌45年に写真師を連れて再び訪れたときに撮影されたものです。このころから健康を害していた晴湖は、大正2年7月28日、繡水草堂にて息を引き取り、77歳の生涯を閉じます。

現在の熊谷市上之にある龍淵寺に葬られましたが、その葬儀では「全村の男女、小学生徒および幾多の紳士紳商が晴湖の棺を送った」と伝えられています。古河歴史博物館学芸員 倉井直子

消防春季点検式

2月28日、中央運動公園総合体育館にて「古河市消防春季点検式」が行われました。これまで1月初旬に古河市消防出初式として開催されていたものを、今年は春季点検式として時期を移しての開催となりました。

当日は、あいにくの雨模様だったため、屋外のイベント広場で予定されていた人員、服装の点検や消防ポンプ車の機械器具の点検、また消防団員による部隊訓練、一斉放水などは中止となりましたが、総合体育館にて古河鷺一番組と古河木遣公聲会による「はしご乗り・まとい振り」や三田幼稚園の幼年消防隊による「防火の誓い」などのアトラクションが披露されました。

また、この消防春季点検式で永年勤続団員表彰など各種表彰状の伝達も行われました。



▲三田幼稚園の園児による演技で華をそえました

受賞者

○消防庁長官表彰1号報償



石丸一男さん
(前古河・三和消防団団長)



成田順一さん
(前古河消防団第1分団分団長)

○消防庁長官表彰2号報償



水戸部芳司さん
(前古河消防団第4分団班長)



山本浩市さん
(前古河消防団第7分団分団長)



小山健二さん
(前古河消防団第8分団分団長)

○日本消防協会長表彰 精績章

菊田信夫さん
(古河消防団本部分団長)
成田順一さん
(古河消防団第1分団分団長)

○日本消防協会長表彰 勤続章

篠崎 卓さん
(古河消防団副団長)

○茨城県知事表彰

永年勤続功労章(勤続40年)
武田邦彦さん
(古河市消防団本部副団長)
永年勤続功労章(勤続30年)
篠崎 卓さん
(古河市消防団本部副団長)
永年勤続功労章(勤続20年)
針谷 孝さん
(古河市消防団古河第4分団班長)
増田寿夫さん
(古河市消防団古河第5分団団員)
尾崎義彦さん
(古河市消防団古河第8分団分団長)

※職名は、受賞当時となります。

全国・県で活躍・表彰

11月4日から6日に東京都昭和の森テニスコートで行われた「第31回ソニー生命カップ全国レディーステニス大会」において、宮川宣子さん(サクセス)が茨城県代表として団体戦に出場。見事、準優勝を飾りました。



「青春応援メッセージ」入賞

○一般の部

【最優秀賞】

山中恵子さん(水海)

主催:(社)青少年育成茨城県民会議

みんなで考えよう！ 私たちの暮らし

2月20日・21日、イトーヨーカドー古河店1階催事場で、「第4回古河市みんなの消費生活展」が開催されました。

このイベントは、市民団体・消費生活センター等が日常の暮らしに関連した課題を取り上げ、消費生活の質的向上を市民みなんで考えることを目的としています。会場内の各ブースには、多くの人が足を止めていました。



▲消費生活展で行う内容の変遷は時代を映しています

古河から発信・実践 「蔵美のまちづくり」

このほど、「蔵美」をテーマとする都市(古河市・桜川市・結城市・足利市・栃木市・行田市)の関係団体が県を越え、まちづくりの情報交換をする「蔵美セッション」がスペースU古河等で開催されました。蔵美のまちづくりとは、蔵等を活用し、まちなか活性化を目指すもので、まちづくり会社の(株)雪華が内閣府の「地方の元気再生事業」に採択された事業です。

当日は、東京工業大学名誉教授の中村良夫先生による基調講演や春風亭柳橋師匠による落語などが行われました。



▲各都市の団体による物産販売が行われて会場は賑わっていました

プロ野球界の安打製造機が「喝！」

3月13日、プロ野球の一時代を築いて野球殿堂入りをしている張本 勲さんによるスポーツ講演会が、中央公民館ホールで開催されました。

「私の野球人生」と題した講演会に集まった観客約350人を前に、野球で活躍するための秘訣やプロ野球生活(23年間)の裏話などを笑いを入れながらも熱く語ってくれました。

また、講演後には観客が楽しみに待った抽選会が行われ、直筆サイン入りの著書が10人にプレゼントされ、会場内は最後まで盛り上がっていました。



▲「何事にも努力することが大切！」というメッセージを贈りました

迫力満点！ 「市民剣道大会」

3月14日、中央運動公園総合体育館アリーナで、「平成21年度古河市民剣道大会」が開催されました。

参加した剣士は、小学1年生以下の部から中学、高校、一般の部と市内から集まった211人。全員きりりと締った表情をして防具に身を包み、大会に臨みました。

試合が始まると、元気な掛け声とお互いの竹刀がぶつかり合う音が会場内に響きわたり迫力満点。日ごろの稽古で培った技を選手たちが競って、会場は熱気に包まれました。



▲小学生低学年の剣士たちも気迫に満ちた試合をしていました

奥原晴湖の画室がオープン

2月24日、鷹見泉石記念館西側に建設された奥原晴湖画室(中央町三丁目)で開館を記念する式典が行われました。

これは、幕末から明治に活躍した古河出身の女流南画家、奥原晴湖の画室「繡水草堂^{しゅうすいそうどう}」の寄付を、子孫が古河市に申し出たことにより、市が移築復元工事を進めていたものです。

当日は天気にも恵まれ、白戸市長から奥原家など関係者に感謝状が手渡されたあと、「繡水草堂」の前でテープカットが行われました。建物は、数奇屋風建築の趣がある書院になっており、複製の掛軸2点も飾ってありますので、ぜひ皆さんも新しい古河市の観光スポットに足を運んでみてはいかがでしょうか。



▲開館を祝いテープカットをする白戸市長(中央)

笑顔がいっぱい 「科学の祭典」

3月6日、中央運動公園総合体育館を会場として、第12回青少年のための科学の祭典古河大会が行われました。

この大会は、例年11月上旬に開催されていましたが、昨年の秋に猛威を振るった新型インフルエンザの影響により延期となっていたものが、今回実施されたものです。

当日の会場内外のブースでは、参加した市内小中学校、大学や企業、さらには街の科学者たちが、来場した子どもたちにユニークな手法で科学の魅力を伝えました。この中から、将来の古河・日本を担う素晴らしい人材が生まれてくるものと期待されます。



▲参加した子どもたちは、真剣な表情をして科学と触れ合っていました



▲自分たちの手作りロケットが空高く舞い上がりました

日々新たなり

古河市長 白戸仲久

～魅力ある都市づくり～

本年9月12日、新「古河市」は誕生5周年を迎えます。

発足以来、合併市町の良さを活かしながら、市民の一体感の醸成と発展の基盤づくりを目標に、草創期のまちづくりを進めてきました。

この時期に大切なことは、すぐさま合併効果を求めるのではなく、確固たる信念と将来ビジョンのもと、しっかりとした体制を整え、着実に布石を打っていくことでした。

今日、市民の皆さまのご協力もあって行財政改革が進み、新しい市民サービスの構築と、都市の発展をリードする基盤整備や機能導入も着々と進んでいます。

とりわけ都市機能の導入という点では、大手企業である日野自動車の誘致は、他市もうらやむものです。

この成果は、合併による都市の規模拡大、花火大会や古河駅を起点とした都市観光の推進による古河市の知名度アップ、さらには合併特例債などの活用による道路網の短期間整備が相まって表れたものと確信しています。

そして今、日野自動車の進出が起爆剤となり、県立中高一貫校の誘致にもつながりました。

都市の魅力を高める取り組みが新しい機能を誘致し、また、その機能が呼び水となってさらに新しい機能を呼び込む。古河市は今、真の合併効果を手にしつつあります。

市では新年度、“グレードアップ予算”と銘打って、市民サービスの拡充と都市の魅力向上を重点に、積極的な予算を編成しました。

55のグレードアップ事業と30の継続事業がその柱ですが、ボリューム感たっぷりの予算となりました。

職員の大いなる奮闘のもと、“もっと輝く古河市”を目指し、都市の一層の魅力を高めてまいります。



My Hobby

“インディアカ”に魅せられて 鈴木博子さん(久能)

ドイツ生まれのインターナショナルスポーツで、羽根のついたボールを、6人制バレーボールのルールに準じて、素手で打ち合うゲームが“インディアカ”。日本でも生涯スポーツとして、さまざまな大会が開かれています。今回は、そんなインディアカを地域の人たちと楽しんでいる鈴木さんにお話を伺いました。

いつでも だれでも どこでもできる

鈴木さんが“インディアカ”と出会ったのは今から17年前で、市で行われていたスポーツ教室に参加したことがきっかけ。「当時は、インディアカという競技は知られていなかったの、周りからはインディアンと呼ばれていたんですよ(笑)。それがサークル活動(ポピークラブ)を続けていくにつれて徐々に仲間が増えてきて……今でも楽しみながら体を動かしています。」とサークルで最年長で今年78歳になるとは思えないぐらい元気な鈴木さん。



▲気の合う仲間と一緒に楽しく活動しているので、ぜひ皆さんも一度インディアカを体験してみてくださいがでしょうか



▲一見なんでもない用具のようですが、ボールの部分と羽根との重量や大きさのバランスが整ったインディアカです



名誉な賞を受賞

ポピークラブは、2月に県が行っている『健康いばらき21元気アップ賞』の大賞を受賞。これは県内で、自らの健康の保持・増進のために健康づくりを継続している団体に贈られる名誉ある賞です。「わたしたちのサークルが受賞できたことはとても光栄なことです。週一回の練習、年数回の大会に参加することで心身ともに若さを保つことができ、いつも和気あいあいな雰囲気です。活動してきたことが評価されたと思います。」と受賞したときの感想を話してくれました。

いつも笑顔で

「インディアカは、1チーム4人で構成して対戦するゲームでローテーションがあります。誰でもすべてのポジションを楽しむことのできるレクリエーションスポーツと思っています。レシーブをする・いいトスをあげると願いセッターに送る・そのトスをバシッとアタックが決まると気分最高です。」また、「年齢が進むにつれて力強さはなくなっていくますが、その分ラリーの面白さが増してくるので、これぞ生涯スポーツの醍醐味と思っています」と笑顔で話す鈴木さん。

最後に元気でいられる秘訣は？と尋ねると「いつも気の合う仲間と一緒に笑ったり話したりすること」とこっそり教えてくれました。

パークライフ 《ネーブルパークで陶芸体験》

さて、ネーブルパークの中に陶芸体験施設があることをご存じですか。今回はこの工芸館についてご紹介します。

一般的に「陶器」といいますが、これには大きく分けて2種類があります。ひとつは陶石(石を原料とした粘土)からできた磁器、もうひとつは陶土(土を原料とした粘土)からできた陶器になります。磁器の特徴は次のとおりです。

- ◆高温で焼くため硬い
- ◆素地が白く滑らか
- ◆吸水性がない

皆さんが普段からよく使用しているお茶碗や洋食器などが磁器の代表的なもので、有田焼や伊万里焼が有名です。

また、陶器の特徴は次のとおりです。

- ◆磁器に比べて低い温度で焼くため割れやすい
- ◆素地が有色で荒い
- ◆吸水性があるため、釉薬をかける



▲世界にひとつしかない「陶器」を作ってみてはいかがでしょうか

陶器は重厚な和食器や花器などに使われ、近隣では笠間焼や益子焼が有名です。

この2種類の「陶器」のうち、工芸館では陶土を使う陶器づくり体験を本焼と素焼の2コース用意しています。

本焼コースは自ら陶土をこねて形を作るところから体験できるコースになっています。非常に人気が高く、かなり先までご予約いただいているところですよ。

一方素焼コースですが、こちらはご予約なしに気軽に陶芸体験ができるもので、素焼された陶器に絵付けするものです。

どちらのコースで作った作品も「同じものは作れない、この世にたったひとつの作品」となることでしょう。ネーブルパークにお越しの際には、ぜひお立ち寄りください。

※コース料金などの詳細や営業日等につきましては、電話で問い合わせください。

【問】ネーブルパーク ☎92-7300

文化財の窓 奈良時代と古河

今年は、奈良・平城京に都が遷^{うつ}されてから1300年という節目の年に当たります。奈良では、今月下旬から11月にかけて、都の置かれた平城宮跡を中心としてさまざまな関連行事が行われる予定です。

今から1300年前の奈良時代における古河市域については、考古資料を除くと当時の様子が分かるような文献等がほとんど残っていないために、残念ながら詳細は分かりません。ただ、そうした状況の中でもわずかながらに今に伝わっていることをいくつかご紹介します。

まず、奈良時代に編^あまれた日本最古の和歌集である『万葉集』には、古河の地名と関係があると思われる「まくらがの許我(古河)」という歌が2首収められています。いずれも舟に関するものであることから、古河と河川交通との関連が考えられます。また、同じ『万葉集』の中には、猿島郡や結城郡出身の防



▲仲山観音堂の桜

り人の歌がいくつか収められており、この地域からも遠く九州に派遣された農民兵士たちがいたことを物語っています。

仁連には、奈良時代を代表する僧侶・行基^{ぎょうき}に関する伝説が伝えられています。行基は、各地で民衆のための布教活動を行い、

聖武天皇の東大寺造営にも大きな貢献をしています。

仁連の東漸寺^{とうぜんじ}に伝わる縁起によると、行基は、聖武天皇の皇后である光明皇后が懐妊したときに自ら刻んで安産祈願した十一面観音像を背負って関東に下向した。その途中、摂津(現大阪府)の仲山に景色が似ている場所で休息していると、観音像が盤石^{ばんしゃく}のように重くなって動かなくなったために、行基はそこに自ら庵

をつくって十一面観音像を安置した。これが現在の仲山観音堂だということです。

(文化課文化財保護係)

桜、レンギョウ 花いかだ・・・博物館は花さかり

花々に囲まれた春の景、古河歴史博物館の周辺がかくれた名所であることはあまり知られていないかもしれません。

花桃の見ごろとともに、古河のお城の堀端では、糸桜の花が開きはじめます。枝垂れる桜花の向こうには、先ごろ公開になった奥原晴湖の画室「繡水草堂」と鷹見泉石記念館。この数寄屋と書院に連なる庭では、侘びた風情の木瓜をからかうように、楓樹のおさない若芽が春の訪れを知らせてくれます。

コブシ、レンギョウ、ヤマザクラ、この地を彩る花々にあって、なかんずく、博物館の麓に並ぶほどの大きな山桜が、枝垂れ桜の散りはじめようよう出番とばかりに蕾をふくらませて美しい景色をいっそう演出してくれるのです。

そして、古城の水堀のほとり、山桜はしずかに花の雨を降らせはじめます。堀の水面に吹雪いて散りわた

る花弁たちは、やがて、水の流れに身を任せて、わずかに射した淡い紅を湛えながらそのすがたを連ねていくのでした。あたたかも、花のいかだのように。

古来、和歌や俳諧の世界に詠まれた「花筏」は、水面に散る桜の花の連なりを筏に見立てたもの。

水堀と桜を配する博物館の空間は、こうした美しいことばの誕生を得心せしめる風景に重なりあうといってもよいのでしょうか。

さて、「御室の桜」として著名な仁和寺は、花見の賑わいの過ぎるころ、多くの文人が来訪して、その遅咲きゆえに跡見の桜を愛でた名刹であります。歴史博物館の山桜は、いわば御室の桜という風情で、跡見と名残を愉しみにするわがまちの文人たちをよるこばせています。

いにしえのお城の水堀に映える花筏、ときには喧噪から離れて情緒的世界に浸ってみるのも一興とはいえぬでしょうか。

古河歴史博物館学芸員 ながよう 俊彦



▲古河歴史博物館の花筏



▲古河歴史博物館の糸桜

図書館おすすめの図書

◇一般書

・暮らしの折り方、包み方

山根 一城 著



ていねいな暮らしと心が伝わる和の文化「折形」。筆包みやかいしきといった食卓を飾る折形や、布・カード・箱・びん・食べもの・お金・草花などを包む折形を、絵と写真でわかりやすく紹介する。

出版社…主婦と生活社
分類…385ヤ

◇児童書

・またまた ぶたのたね

佐々木 マキ 著



走るのが遅くて、一度もぶたを捕まえたことがないおおかみは、ある日、きつねから「ぶたのたね」をもらいました。しかしそれを家の床下に落としてしまい…。

「ぶたのたね」シリーズ第3弾。

出版社…絵本館 分類…Eマ

(古河図書館)

健康情報局

唾液のパワー

～大切な唾液の働き、現代人は減少気味です～

唾液は全身の健康と深いかわりがあります。普通、1日に1.5ℓ～2ℓの唾液が分泌されますが、よく噛む習慣がなくなると分泌量が減少します。一般的には、加齢とともに口や顎の筋肉の働きが低下し、歯の喪失が進むことで噛む機能が衰え、唾液分泌量が減少すると言われています。

しかし、年齢に関係なく、軟らかい食べ物を好み、よく噛む習慣がない人は唾液分泌の機能が弱くなります。また、ストレスや極度の緊張は唾液分泌を抑制します。薬剤の服用によっても、低下する場合がありますので、要注意です。

唾液には体を守る働きがあります

- ①食べ物の消化を助ける
- ②食欲を増進させる
- ③食べ過ぎの防止
- ④口を清潔に保ち虫歯を防ぐ

(健康推進課)

- ⑤細菌の増殖を抑える
 - ⑥発がん性物質の毒性を抑える
- 唾液分泌を促すために**

よく噛みましょう

よく噛むと顎や舌の筋肉が動き唾液分泌を促進します。ガム(キシリトールなど虫歯の原因にならない糖分のもの)は唾液の分泌を促すと同時に虫歯予防に効果的です。食材を大きく切ったり、噛みごたえのある海藻や食物繊維の多い野菜など、よく噛まないと飲み込めない食材を使うこともよく噛む事につながります。

また、食事中よく噛まずに飲み物で流し込むように食べる人が増えています。しっかり噛めば飲み込みやすくなりますので、飲み物にたよらないようにしましょう。

【唾液腺のマッサージ】 ※食事前が効果的です

耳下腺



親指を耳の後ろに、残り4本の指を軽く閉じて手のひらを頬に当て、後ろから前に向かって回す(10回)

顎下腺



親指で顎の骨の内側の柔らかい部分を、耳の下あたりから顎の下まで順番に押していく(5回)

舌下腺



両手の親指をそろえて、顎の下から突き上げるように、ゆっくりグーッと押す(5回)

表紙写真

ネーブルパークも21年を経て桜の木も立派になり、日夜を通して一見の価値があります。そんなある日、夜桜を見にネーブルパークに行ってみたら、水面の映り込みと花卉が浮いてきれいだったのでシャッターを切ったときの一枚です。

【撮影者】

青木博さん(総和写真クラブ)

【作品名】 春の宵

【撮影場所】 ネーブルパーク

寄付

株式会社染めQテクノロジー(五霞町元栗橋)より、ウイルス感染対策として市内小中学校に消毒スプレー96本の寄付

人口と世帯

(3月1日現在 住民基本台帳から)

総人口	145,144人 (+4)
男	72,808人
女	72,336人
世帯数	54,029世帯 (+58)

() 内は前月比

今月の料理

大豆入りつくね

<メタボリックシンドローム予防食>



(1人分)
エネルギー=103kcal
たんぱく質=9.7g
脂肪=4.5g
塩分=0.4g

材料(4人分)

大豆(茹で)100g、鶏ひき肉100g、ねぎ(みじん切り)大さじ2、みそ小さじ2、青じそ12枚、サラダ油少々
作り方

- ①大豆はボウルに入れ、少し粒を残してつぶす。
- ②①に鶏ひき肉、ねぎ、みそを加えてよく混ぜ合わせる。12等分にして小さい小判型に成型し、青じそをまく。
- ③フッ素加工のフライパンにサラダ油をひき、②のつくねを入れる。両面を香ばしく焼いたら、ふたをして中火にし、中まで火をとおす。

(食生活改善推進協議会)

アイドル登場

「わが家のアイドル」

山本 ^{かえて} 楓くん (2歳・東牛谷)



わが家にも、新しい家族が増えました。その息子も今月で2歳になります。

いつも甘えん坊で泣き虫な楓だけど、そんな楓がパパとママは大好きだよ！

(父：学さん・母：恵美さん)

古河風土記



墨堤春色図屏風

奥原晴湖の描く春

古河歴史博物館で開催中の「奥原晴湖展」、百花繚乱の作品にあふれています。そこで、今月はよりすぐりの優品のご紹介。

この二曲一双の「墨堤春色図屏風」、明治二〇年に描かれた晴湖の作品です。こんにちも桜の名所として知られる隅田川、三囲(みめぐり)周辺を写すもので、西洋画の遠近法を取り入れた写実的な構図で華やかな春の景色を湛えています。

本品は、晴湖の支援者であった長谷川家(新潟県長岡市の依頼に応じて描かれた作品。同邸は、現在、国重文に指定されて公開されています。はじめ離れの襖絵にする予定であったといいますが、その完成度の高さから、屏風仕立てにしたという逸品。当館の展示室に、春風を招いてくれます。

◆繡水草堂移築記念「奥原晴湖展」は5月5日まで

平成22年4月1日発行

●発行所/〒306-0291 茨城県古河市下大野254-8 古河市政府 50290 (0293) 3-111
●編集所/〒306-0291 茨城県古河市下大野254-8 古河市政府 50290 (0293) 3-111
●ホームページ/ <http://www.city.furukawa.jp/>